

順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科専門医研修プログラム

1 はじめに

当リハビリテーション科研修プログラムでは、地域の三次救急を一手に引き受ける大学附属病院の特性を活かして、幅広い分野の急性期リハビリテーションを学びます。また、連携病院にて回復期や地域におけるリハビリテーションを習得します。さらに臨床研究の進め方も身に付けます。



プログラム統括責任者 順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科
准教授 田沼明

2 目的

当リハビリテーション科研修プログラムは、医師として必要な基本的診療能力や態度を身に付けるとともに、日本リハビリテーション医学会が定める「リハビリテーション科専門医研修カリキュラム」に基づいて、リハビリテーション科専門医に求められる知識や技術を修得することを目的としています。

リハビリテーション科専門医研修カリキュラムでは、経験すべき症例として

- (1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など
- (2) 運動器疾患・外傷
- (3) 外傷性脊髄損傷
- (4) 神経筋疾患
- (5) 切断
- (6) 小児疾患
- (7) リウマチ性疾患
- (8) 内部障害
- (9) その他

を挙げています。研修期間内にこれらすべてのリハビリテーションを経験します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

順天堂大学医学部附属静岡病院

伊豆半島一円の三次救急を一手に引き受けている病院で、救急車による搬送は年間約 6,000 件、ドクターヘリの出動は年間約 900 件です。集中治療室でのリハビリテーションを含めた急性期のリハビリテーションを主体に幅広い分野の研修ができます。

リハビリテーションの依頼は院内のほぼすべての科から出されており、その数は年間 5,000 件以上に上ります。また、地域の基幹病院であるため、一般的な症例のみならず、希少な症例、重篤な症例、多科にわたる管理が必要な症例なども多く、量だけでなく質的な面からもさまざまな経験を積むことができます。

(2) 専門研修連携施設

順天堂大学医学部附属順天堂医院（連携施設）

高度かつ先進的な医療における急性期リハビリテーションを学ぶことができます。また、世界に通用する先進的な臨床研究を行っており、研究マインドを育むことができます。

順天堂大学医学部附属東京江東高齢者医療センター（連携施設）

一般的な急性期リハビリテーションだけでなく、認知症治療病棟にて認知症に対するリハビリテーションを学ぶことができます。

静岡県立静岡がんセンター（連携施設）

わが国で初めてリハビリテーション科を標榜したがん専門病院であり、がんのリハビリテーションを幅広く学ぶことができます。

医療法人社団聖稜会聖稜リハビリテーション病院（連携施設）

脳血管障害や骨折後の回復期リハビリテーションが主体ですが、退院後の外来リハビリテーションや訪問リハビリテーションによる医療を提供しており、生活期のリハビリテーションも学ぶことができます。

医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院（連携施設）

こちらも回復期リハビリテーションが主体ですが、生活期のリハビリテーションも経験することができ、大都市における地域医療を学ぶことができます。

医療法人社団城東桐和会東京さくら病院（連携施設）

回復期リハビリテーション病棟のみならず、地域包括ケア病棟や緩和ケア病棟を有しており、幅広くリハビリテーションを学ぶことができます。

JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院（関連施設）

回復期・生活期のリハビリテーションの他、地域包括ケア病棟でのリハビリテーションを経験することができます。また、専門研修基幹施設の順天堂大学医学部附属静岡病院との間の紹介・逆紹介が多く、急性期との連携も学ぶことができます。

4 専攻医受入数

2名

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

1年次：順天堂大学医学部附属静岡病院または順天堂大学医学部附属順天堂医院

2年次：順天堂大学医学部附属静岡病院または上記専門研修連携施設

3年次：上記専門研修連携施設にて研修

7 問い合わせ先

連絡先

〒410-2295 静岡県 伊豆の国市長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 臨床研修センター

電話：055 (948) 3111 Fax:055 (948) 5088

E-mail: shizuoka-kenshu@juntendo.ac.jp

<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/trainee/latter/>

プログラム責任者

順天堂大学医学部附属静岡病院リハビリテーション科 准教授 田沼明